

10/20

②

稼働40年を超えた高浜原発1, 2号機と美浜原発3号機を廃炉にするよう関西電力に要請するという意見書を政府に提出してください。

紹介議員

西の恵子
下奥 奈歩

理由

高浜原発1, 2号機と美浜原発3号機を60年運転することを、原子力規制委員会が認可しました。すでに40年を超えて稼働している原発をさらに20年延長して動かすことを認めたのです。こんな老朽化した原発を60年動かした実績は世界にもありません。福島のような事故が起きれば、中部、関西地方が放射能汚染を受けることになります。福島の事故でも100キロメートルを超えた茨城、栃木へも放射能が飛散しました。

高浜から130キロメートル以上離れた愛知県でも安心はできません。2011年8月に、美浜原発を視察した名古屋市河村たかし市長は記者会見で、「放射性物質が偏西風に乗ってくれば、木曾川水系の水は飲めないようになる」と述べています。

高浜と愛知県は遠く離れているように思いますが、その間には高い山はなく、びわ湖と濃尾平野がひろがっており、ここが北や北西の風の通り道になって滋賀、岐阜、愛知へ放射能を運んできます。関西1400万人の「みずかめ」であるびわ湖も汚染され、名古屋市民の生活用水である木曾川の水も汚染されると被害は甚大です。放射能による人体への被害ははかり知れないものがあります。

老朽原発にはたくさんの危険性があります。40年も使ってきた原発には気がつかない劣化箇所や欠陥があります。いつどこが故障するかわかりません。

なかでも一番の問題は原発の心臓部である原子炉圧力容器です。長年、中性子を浴びて脆く（もろく）なっています。緊急時に冷却水を入れたときに、パリッと割れて、重大事故を起こします。特に、高浜1号機は日本の原発の中で一番割れやすい状態になっています（圧力容器は作り変えていないので40年前のままです）。

老朽化していつ事故が起こるかわからない原発を20年も動かすことは危険です。一企業の都合で、住民の生活と生命を危険にさらすことは納得できません。

日本で初めての60年稼働という問題に直面して住民に不安が広がっています。日本世論調査会の世論調査では「40年で廃炉にすべきだ」が47, 8%、「40年より短くすべきだ」が24, 6%、合わせて72, 4%の人が40年で廃炉にすることを望んでいます。隣接する京都府の山田啓二知事は、高浜原発1, 2号機の40年以上の稼働は容認しない考えを表明しています。

愛知県議会におきましても、市民の生命と財産を守るために、高浜原発1, 2号機と美浜原発3号機を廃炉にするよう関西電力に要請するという意見書を政府に提出してください。

平成28年10月

愛知県議会議長 鈴木孝昌様

名古屋市天白区横町102-1パークシティ植田
リバービューウイング707

西 英子

電話(052)808-3241